



九州財務局  
局長 河村 企彦

熊本経済の持続的成長に向けて  
DX、人的資本投資、SDGsの取組みを支援

昨年7月の着任以降、地域の方々と意見交換させていただく中で、地域経済の持続的成長に向けては「DX」、「人的資本投資」、「SDGs」の推進が課題であるとの声が多く聞かれました。この3つのキーワードは、まさにデフレ脱却に向けた政府の成長戦略の重点分野に掲げられており、当局としても重要なテーマとして位置づけ、課題解決支援の取組みを行っています。

①DXの取組支援

少子高齢化が進む中、限られた人員で生産性を向上させていくためには、DXは不可欠な取組みである一方で、中小機構の調査によると、DXの必要性を認識しながら取り組めていない中小企業も多い状況です。こうした状況を踏まえ、昨年11月、九州経済産業局等と連携して「中小企業のDX推進」をテーマにフォーラムを開催し、地元経営者等の方々と先進的な取組事例を共有するとともに、今後の対応策について意見交換を行いました。

当フォーラムでは、「経営者がDXについての将来のビジョンを社内外に示すことが重要」、「当該方針の従業員への浸透を図るためには、DXを部分的にでも導入し、その効果を従業員に実感してもらうという成功体験を積み重ねていくことが近道」とのご意見をいただきました。

②人的資本投資の取組支援

人材を資本として捉え、その価値を最大限に引き出すための投資を行うことは、持続的な企業価値向上のために重要であるとの認識の下、昨年5月、「人的資本経営」をテーマにフォーラムを開催しました。

当フォーラムでは、「人的投資の強化は、スキル向上、人材配置の効率性、エンゲージメントの向上を通じて、収益増大や費用削減につながる」との考え方が共有されたほか、中小企業の取組事例を紹介し、人材育成手法等について意見交換を行いました。

以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、[入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。](#)

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方はこちらから](#)